

# 令和3年度 第1回学校給食用物資選定懇談会 議事録概要

- 1 **日時** 令和3年7月28日（水）午後2時から午後2時40分まで
- 2 **場所** 生涯学習センターけやき 第2会議室
- 3 **議題**
  - (1) 学校給食用物資選定懇談会について
  - (2) 令和3年度下半期（10月～3月）使用物資について
    - ア 学校給食用物資について
    - イ 選択制物資以外の一般物資について
    - ウ 選択制物資について
    - エ 選択制物資検討結果表について
    - オ 新規物資について
  - (3) その他
- 4 **出席者** 井上智子校長、小酒部志帆保護者の代表、小川新治保護者の代表、平野亜季学校栄養職員、山崎千沙都学校栄養職員、吉田志帆学校栄養職員、岩田加那学校栄養職員、花里美加栄養教諭、瀧口春美学校栄養職員
- 5 **欠席者** 永山健治校長
- 6 **事務局** 鈴木学校安全課長、熊坂給食係長、田邊給食係長、山崎給食係長  
奥村主事補

## 7 議事概要

### (1) 開会

#### ア 会議の公開について

事務局より小田原市学校給食用物資戦隊懇談会設置要綱 第4条によりこの会議は公開になることを説明した。

#### イ 学校安全課長挨拶

皆様、こんにちは。学校安全課長の鈴木でございます。

本日は、大変お忙しいなか、令和3年度第1回学校給食用物資選定懇談会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃から、学校給食における円滑な運営にお力添えを賜っておりますことに、改めまして、厚くお礼を申し上げます。

本市では、令和3年4月から学校給食費を私（わたくし）会計から公会計に移行しました。

昨年度までは、学校給食用物資の選定を学校給食会の物資選定委員会で行っていましたが、公会計化に伴う学校給食会の解散に伴い、懇談会形式で皆様のご意見をいただく形といたしました。

この懇談会では、学校給食で使用される物資のうち、調味料や缶詰・冷凍食品・乾物などの一般物資や選択制物資、新規物資について、ご意見をいただくことを目的としています。校長先生、保護者の代表、栄養教諭および学校栄養士の皆様から御意見をお聞きし、児童・生徒の健康を第一に、安心・安全でおいしい給食が提供できるように、努めてまいりますので、是非、皆様にご協力いただきますよう、お願いを申し上げます。

本日は、どうぞ、よろしく願いいたします。

#### ウ 自己紹介

構成員、事務局の順に自己紹介を行った。

### (2) 議題

#### (1) 学校給食用物資選定懇談会について

事務局より学校給食費の公会計化に伴い、小田原市学校給食会が解散することから、学校給食用物資については、小田原市で選定することとなった。

そこで、この学校給食用物資選定懇談会を開催し、学校給食用物資の選定にあたって給食関係者から意見を聴取するために設置するものであると説明した。

#### (2) 令和3年度下半期（10月～3月）使用物資について

##### ア 学校給食用物資について

資料1 学校給食用物資について、事務局から説明し、質問はなかった。

##### イ 選択制物資以外の一般物資について

資料2 令和3年度下半期選定制以外の一般物資一覧について事務局から説明し、質問はなかった。

##### ウ 選択制物資について

資料3 令和3年度下半期選択制物資・新規物資一覧について、事務局

からパワーポイントで説明し、質問はなかった。

エ 選択制物資検討結果表について

資料4 令和3年度下半期選択制物資検討結果表について、事務局から議題(2)ウでの説明を資料4に味・香り・色・食感・使いやすさを評価項目として詳細にまとめたものであることを説明した。質問はなかった。

オ 新規物資について

新規物資について事前に栄養教諭及び学校栄養職員から希望を募ったところ、第4ブロックから香辛料5種、センターブロックからつぼ漬け、第1ブロックから大豆ミート(フィレタイプ)の希望があった。大豆ミートは、希望したメーカーのものの取り扱いがなかった。事務局として同等品の大豆ミートについて取り扱いができないか確認中であること、大豆ミートを除く、香辛料5種、つぼ漬けについては採択とすることを説明した。

(3) その他

新規物資について希望を出したブロックの栄養士が説明した。

第4ブロックの岩田栄養士は、小規模校で使用する調味料が現在ないこと、用途が限られるため、賞味期間の間に使い切れないため小容量のものを希望。センターブロックの瀧口栄養士は、長野県の人気メニューでキムタクご飯があるが、たくわんよりも甘めの味付けであり、献立に使用するために希望。第1ブロックの平野栄養士は、大豆ミートは鉄分やカルシウムの補給に効果的であり、子供の好きなお肉の代替として使用したい。肉の代わりに使うとコストが下がると説明した。

保護者代表の小酒部さんからは大豆ミートで栄養がとれるのであればありがたい。小川さんからは肉の代わりに大豆ミートを使用してコストが下がるのであれば積極的に使用してほしいとの意見があった。

矢作小学校の井上智子校長から、今後は、大豆ミートが導入される見通しがあるのかという質問があり、事務局から現在の業者では取り扱いがないが、他市で同種の大豆ミートの取り扱いがあるため、事務局として業者への新規依頼の準備をしていると回答した。

事務局から保護者の給食に対する要望を求めたところ、保護者代表の小酒部さんからは公会計については手続きが終われば自動的に支払うだけなので問題はない、子供は給食を楽しみにしていて不満は全くない。小川さんは、国府津中学校ではお椀で食べているが、他の学校はプレートで食べている学校があるので、食文化にあった食器を使用したらどうかとの発言があり、事務局として、新センターについては個々の食器を

使用することになることを説明した。

事務局から栄養士として保護者に伝えたいことを尋ねたところ、矢作小の山崎栄養士はコロナの影響で調理実習ができず、給食が生きた教材として重要と考えている、試食会もないため、栄養士が発行する給食だよりの充実や食の指導など行っているので、子供を通じて保護者にも関心をもってもらいたい。富水小の吉田栄養士は試食会の代わりに給食レシピ集など作成する代替を考えたい、大窪小の花里栄養教諭は食の指導を実施することで子供を通じて保護者に関心をもってもらいたいと発言があった。

矢作小の井上校長から、物資は一昔前に比べ多様化しており、給食のメニューも地域だけでなく外国文化も取り入れられている。学校農園や委員会活動を通して食育を推進していきたい。

学校安全課長から、コロナ禍にあるが、子供たちは黙食といって規律を守り、静かに給食を食べている。学校のホームページも見ているので、充実させてほしい。

事務局から、令和3年度下半期の一般物資、選択制物資、新規物資について意見を参考にして決定する。9月には、各学校と栄養教諭および学校栄養職員に物資の価格表を送付したいと説明した。

次回、令和3年度第2回物資選定懇談会を、令和4年2月4日（金）、けやき第2会議室で予定している。